

後期「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました

後期の学校評価では、保護者や教職員、児童生徒アンケートの結果を、前期の結果と比較して分析しました。後期学校評価アンケートの自由記述欄でいただいたご意見も全て、全教職員に周知しております。また、分析結果を学校運営協議会の皆様にも報告します。皆様の貴重なご意見をこれからのお教育活動に生かして、課題解決に向けて取り組んで参ります。

〈後期学校評価アンケート結果分析について〉

- ◎実施 令和4年1月12日（金）～24日（金）
- ◎方法 各項目について「実現度」を5段階で回答（保護者・教職員アンケート）
各項目について「実現度」を3段階で回答（児童生徒アンケート）
- ◎回答率 * 1家庭に1枚配布（児童生徒については1人1枚配布）

	保護者		児童生徒		教職員	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
回答数	142	146	100	95	132	131
回答率	75.0%	75.6%	51.5%	47.8%	97.0%	95.6%

学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために
個々の可能性を最大限に伸ばす



めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人 ○人を大切にし、共に生きる人 ○願いや夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもってすすむ人 ○役割を担い、役に立とうとする人 ○挨拶をする人 ○ルールや約束を守る人

◎表について

- ・「実現度」について「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合（%）を表示する。
- ・「実現度」は、おおむね前期より上がっているため10ポイント以上上がった項目を グレーで着色し、下がった項目を で囲って表示する。

【表】（保護者、教職員の肯定的な回答率…前期と後期の比較）

質問項目	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員全体	
	前期	後期								
(1) 自分の心や体を大切にする人□										
・学校は、健康維持や体力づくりに十分取り組んでいる	100%	97.3%	94.6%	97.4%	96.7%	95.6%	96.9%	96.4%	89.8%	94.0%
・学校は、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる（「しんどい」ことを伝える、薬を飲む 等）	84.9%	94.6%	83.8%	94.7%	85.8%	94.2%	84.7%	94.4%	90.7%	94.1%
・児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている	84.8%	88.9%	75.7%	81.6%	75.4%	87.7%	77.4%	86.3%	87.6%	87.3%
・学校は、感染症予防について児童生徒が意識できるように取り組んでいる（手洗いの励行、マスクの着用 等）	71.9%	97.3%	94.6%	94.7%	90.5%	97.1%	86.8%	96.4%	86.0%	92.7%

	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員全体	
	前期	後期								
(2) 人を大切にし、共に生きる人口										
・学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる（校内、地域 等）	81.8%	91.9%	78.4%	92.1%	72.1%	91.1%	75.8%	91.6%	54.2%	85.8%
・学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている	81.8%	97.3%	81.0%	89.2%	75.8%	95.6%	78.3%	94.0%	86.8%	91.6%
・児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している（校内、地域 等）	78.7%	91.9%	78.4%	94.8%	81.7%	85.5%	79.6%	89.2%	65.9%	87.3%
(3) 願いや夢に向かってすすむ人										
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している	97.0%	100%	94.6%	94.6%	90.2%	95.6%	93.0%	96.7%	90.5%	95.7%
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿の実現に向けて包括支援プランを作成している	100%	100%	94.6%	100%	95.1%	98.5%	96.1%	99.2%	96.1%	95.7%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、個々に応じた指導や支援を行なっている	87.9%	94.6%	86.4%	89.5%	85.4%	94.2%	86.1%	92.8%	89.2%	94.0%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている	84.8%	86.5%	70.2%	79.0%	82.3%	94.2%	79.1%	88.4%	80.3%	83.4%
・児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している	90.9%	91.9%	78.4%	81.6%	75.8%	88.4%	79.9%	86.8%	89.8%	89.8%
(4) 負けない心をもってすすむ人										
・学校は児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう支援や指導をしている	90.9%	94.4%	97.1%	97.4%	83.3%	94.2%	88.8%	95.2%	91.2%	93.2%
・児童生徒は、初めてのことや苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている	93.7%	88.9%	85.7%	84.3%	75.0%	92.8%	82.2%	89.5%	85.0%	91.5%
(5) 役割を担い、役に立とうとする人										
・学校は、児童生徒が役割を担うことで、やりがいを感じて活動できるようにしている	93.9%	94.6%	88.9%	94.8%	81.4%	94.2%	86.4%	94.4%	94.5%	95.1%
・児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している	94.0%	92.9%	91.7%	94.8%	83.1%	92.6%	88.0%	93.2%	91.3%	93.4%
(6) 挨拶をする人										
・学校は、児童生徒が自分なりの方法で、挨拶できるように取り組んでいる	100%	97.3%	88.6%	91.8%	84.5%	95.4%	89.4%	94.6%	94.5%	98.8%
・児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしている	93.9%	89.2%	85.7%	86.8%	86.7%	92.6%	88.0%	90.2%	96.0%	93.3%
(7) ルールや約束を守る人										
・学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている	87.5%	97.3%	80.6%	89.2%	88.1%	98.4%	85.5%	95.4%	89.0%	95.2%
・児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している	78.8%	83.3%	85.8%	81.1%	78.3%	90.9%	80.0%	86.8%	94.5%	93.9%

	小学部		中学部		高等部		保護者全体		教職員全体	
	前期	後期								
(8) 全体に関すること										
・学校は、児童生徒の健康・安全を守っている	96.9%	97.3%	91.2%	97.3%	98.3%	100%	96.0%	98.8%	94.4%	98.2%
・学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている	97.0%	97.3%	88.9%	97.4%	98.2%	98.5%	95.1%	97.9%	94.4%	95.8%
・学校は、授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒の指導や支援をしている	96.9%	94.6%	91.7%	97.3%	93.2%	98.5%	93.6%	97.6%	92.9%	96.4%
・学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている	93.9%	100%	94.3%	94.8%	91.6%	95.3%	92.8%	95.9%	93.7%	95.2%

【表】(児童生徒の肯定的な回答率…前期と後期の比較)

* 「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の3段階的回答より

	そう思う	
	前期	後期
自分の心や体を大切にしている	84.0%	92.0%
しんどくなった時は、先生や家の人に伝えている	81.0%	81.0%
友達と仲良くしている	90.0%	96.0%
学校で、自分のやりたいことに挑戦している	90.0%	87.0%
学校で、当番や係活動にがんばって取り組んでいる	92.0%	92.0%
自分なりの方法で挨拶をしている	94.0%	94.0%
ルールや約束を守って行動している	89.0%	92.0%
学校の授業内容は、よく分かる	87.0%	93.0%
自分が「できたこと」や「がんばったこと」を先生がほめてくれる	92.0%	88.0%
毎日、学校に行くことが楽しい	94.0%	84.0%
手洗いやうがいなどに取り組んでいる	77.0%	85.0%

*以下、保護者全体を**保護者**、教職員全体を**教職員**と表記します*

(1) <自分の心や体を大切にする人>

「自分の心や体を大切にする力」を育むために
引き続き、児童生徒一人一人が自分の心身に意識を向けて過ごせるよう
児童生徒の課題に応じて、丁寧に指導をしていく。

全4項目のうち、「学校は、感染症予防について児童生徒が意識できるように取り組んでいる（手洗いの励行、マスクの着用等）」の項目については肯定的な回答が保護者、教職員共に上がっていました。この結果からコロナ禍における学校での感染症予防に関する取組、指導に対して評価をいただいていると推測されます。今後も状況に則した取組、個々の児童生徒の課題に応じた丁寧な指導を引き続き行なっていきます。

また、「児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている」の項目については、保護者の肯定的な回答は上がっていました。学部学年やライフスタディで、発達段階に応じた性教育が行われ、高等部では防犯学習にも取り組んでいます。このような学習を通して児童生徒が自分の心や体を大切にする意識が向上していくよう今後も取組を続けていきます。

(2) <人を大切にし、共に生きる人>

今後も「今できること」を最大限に活かし、校内外の様々な人との触れ合いを通して
たくさんの経験を重ね、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする力を培っていく。

全3項目ともに保護者・教職員の肯定的な回答は前期より上がり、10ポイント以上上がっている項目が多くありました。感染症対策を講じながら、修学旅行や校外学習等の行事で友達との関りを深めたり、地域の方と関わったりする学習にも取り組むことができた時期があったこと、また、リモートでの全校集会などの行事、居住地校や他の総合支援学校との交流など新たな方法、試みを通して人と関わる経験ができたことも肯定的な回答が上がった一因であると思われます。

「今できること」を最大限に活かし、距離は取りつつも、人と関わる経験をたくさん重ね、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする力を培っていきたいと考えます。

(3) <願いや夢に向かってすすむ人>

個別の包括支援プランをもとに「児童生徒が、願いや夢に向かって生き生きと学習している」という姿を引き出す授業づくりができるよう引き続き取り組んでいく。
将来の姿や進路の実現に向けて、必要な情報発信、情報共有を目指す。

全4項目ともに保護者の肯定的な回答が上がっています。「学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている」の項目については、前期に比べて保護者、教職員共に肯定的な回答は上がっていますが、他の項目と比べると、全体的に低めの結果となっています。アンケート結果から小学部、中学部の保護者も目指す将来の姿や進路の実現に向けての具体的な情報を得ることを希望されていると推測できます。児童生徒、保護者にとって必要な情報発信、情報共有を目指していきたいと考えます。

(4) <負けない心をもってすすむ人>

児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるような
機会を増やし、達成感を得られる支援と授業づくりに取り組む。

児童生徒の頑張りや成長を見逃さず、保護者とそのような児童生徒の姿を共有することも大切である。

全2項目のうち、「児童生徒は、初めてのことや苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている」においては、高等部保護者の回答は大きく上がりました。高等部生徒は特に学校、家庭以外に、実習先などの新しい環境でも様々な体験をする機会が増えていることが回答結果の一因だと考えられます。それぞれの発達段階に応じて、学校で学んだことを様々な場で発揮できることを目指した支援、授業づくりを行うことが大切だと考えます。

児童生徒アンケートの「自分が「できたこと」や「がんばったこと」を先生がほめてくれる」の項目については前期に比べ肯定的な回答（「そう思う」）が下がっていました。児童生徒の頑張りや成長を見逃さず褒めること、また、学校で児童生徒が取り組む姿を保護者と共有し、学校と家庭が連携して児童生徒を励ましていくことも大切であると考えます。

(5) <役割を担い、役に立とうとする人>

自分の役割を果たして人に感謝されることにより、やりがいを感じる。

児童生徒が個に応じた役割を担い、やり遂げることができる状況づくり、支援をさらに充実させる。

「児童生徒は様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している」の項目については、回答結果から学部が上がるにしたがって、できることが徐々に増え、役割の幅も広がり、また、様々な場面での役割が定着してきていくと思われます。役割を果たすことで指導者や友達からお礼の言葉を受け、それを励みに自ら行動に移す姿も多く見られます。学校での取組を家庭、地域、そして高等部卒業後の進路へと繋げることも視野に入れ、人の役に立つことでやりがいを感じられるような状況づくり、支援をさらに充実させたいと考えます。

(6) <挨拶をする人>

挨拶は人との関わりの輪を広げるために大切なこと。

いつでも、どこでも、誰とでも、自分なりの方法で挨拶をしたり

それに応えたりできるよう引き続き取り組んでいく。

「児童生徒は自分なりの方法で挨拶をしている」の項目については、様々な場面で、言葉、会釈、視線など自分なりの方法で挨拶をしたり、それに応えたりする姿をよく見かけます。児童生徒会を中心としたあいさつ運動も積極的に行なっています。

児童生徒アンケートの「自分なりの方法で挨拶をしている」の項目は肯定的な回答が前期と同様 94.0%と全項目の中で最も高い結果を示しています。

いつでも、どこでも、誰とでも、挨拶ができ、さらに人との関わりの輪を広げられるよう今後も取組を続けていきます。

(7) <ルールや約束を守る人>

ルールや約束を守って行動する力は家庭、地域、社会で生活する上で将来的にも大切なことである。

学校生活の中でどのように行動するのが良いかを学び、考え、実践を積み重ねることにより

学校外でも同じように力を発揮できるようになることを目指す。

「児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している」の項目に関しては、保護者全体としては肯定的な回答は上がっていますが、下がっている学部もありました。これらの結果から、児童生徒の姿として表れていない場面があるということが推測されます。ルールや約束を守って行動する力は、家庭、地域、社会で生活するうえで将来的にも大切であると考えます。今後も学校生活の中で、自分はどのように行動するのが良いのかを学び、考え、実践を積み重ねることで、学校以外の場でも同じように力を発揮できるようになることを目指します。

(8) <全体に関するこ>

児童生徒の「健康や安全を守る」、「児童生徒を愛し、人権を大切にする」、「熱意をもって指導や支援をする」ために、教職員の資質能力・専門性向上に努める。

コロナ禍において、学校は児童生徒の思いに寄り添うことがより一層大切である。

また、学校や児童生徒の様子を保護者に詳しく伝えて共有する。

全4項目で構成されています。いずれの項目も肯定的な回答は保護者、教職員共に上がり、95%を超える結果でした。

教職員が、「児童生徒の健康や安全を守る」こと、「児童生徒を愛し、人権を大切にする」こと、「熱意をもって指導や支援をする」ことは必要不可欠のことです。教職員一人一人がこの結果を踏まえてあらためて自己を省み、児童生徒の力を最大限に伸ばせるよう、さらに資質能力、専門性の向上に努め、指導にあたることが重要であると考えます。

また、「学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている」の項目についても、保護者、教職員の肯定的な回答は上がりました。授業参観の中止等で学校での様子を直接見ていただく機会は減りましたが、ホームページ等を活用し、学校の様子や児童生徒の活動状況などを家庭と共有することができたことに、一定の評価をいただいたと思われます。一方、自由記述欄には「学校に行く機会が減り、学校の様子がわからない」というご意見も数件いただいている。学年だより、学校だより、ホームページ等をさらに充実させ、保護者と児童生徒の取組や学校の様子を共有できるよう努めていく必要があると考えます。

また、児童生徒アンケートでは「学校に行くことが楽しい」の項目においては、肯定的な回答（「そう思う」）は前期よりも下がりました。新しい生活様式など生活の変化も児童生徒の負担になっているのではないかと思われます。今後も児童生徒の思いに寄り添い、少しの変化も見過ごすことのないようにしていきたいと思います。また、今だからこそできる新しい発想による楽しい取組をたくさん取り入れていきたいと思います。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。